

令和 4 年 6 月 8 日現在

機関番号：11301

研究種目：国際共同研究加速基金（国際活動支援班）

研究期間：2016～2021

課題番号：16K21734

研究課題名（和文）「個性」創発脳システムの統合的理解を拓く国際的データシェアプラットフォームの構築

研究課題名（英文）Building an international data-sharing platform towards integrated understanding of the "individuality" within the brain system

研究代表者

大隅 典子（OSUMI, Noriko）

東北大学・医学系研究科・教授

研究者番号：00220343

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 50,500,000円

研究成果の概要（和文）：神経科学領域の進展にも関わらず、ヒトの心的機能の個人差、すなわち「個性」の神経生物学的基盤については十分には明らかにされてこなかった。本「個性」創発脳領域では、「個性」の科学的な理解を目指し、人文社会科学、生物学、理工学の研究者が参集することにより、学際融合的研究を展開した。国際活動として、若手研究者の海外派遣、著名な海外研究者の招聘、国際シンポジウムの開催に加え、齧歯類の超音波発声を含む各種行動データを元にした国際的なデータシェアリングプラットフォームを構築した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

多様なステークホルダーが研究に参画しうるSociety 5.0の推進において、データシェアリングはオープンサイエンスの基本となるものである。本新学術領域により構築したプラットフォームがプロジェクト終了後も何らかの形で維持されることにより、より大きなヴァーチャルな「知の集合体」が構築され、国際的社会に大きな貢献をもたらすことが期待される。

研究成果の概要（英文）：Although the commonality of human mental functions has been clarified to a great extent through collaboration with related neuroscientific research, the neurobiological basis of individual differences, or "individuality," has not been fully elucidated. In this research project, researchers from the humanities and social sciences, biology, and science and engineering have come together to conduct interdisciplinary research aimed at a scientific understanding of "individuality". As international activities, in addition to sending young researchers abroad and inviting prominent foreign researchers, an international data-sharing platform based on various behavioral data including ultrasonic vocalizations of rodents was established.

研究分野：神経発生学、分子生物学、発生発達神経科学

キーワード：「個性」 データシェアリング オープンサイエンス 融合研究 学際研究

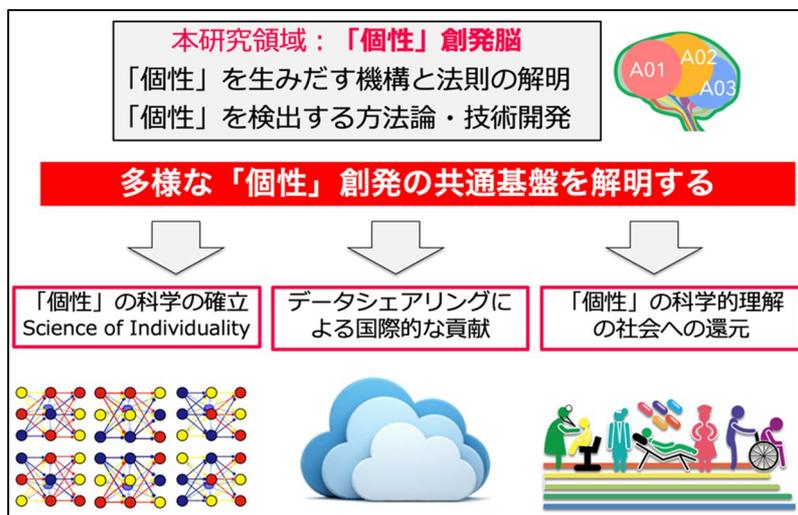
1. 研究開始当初の背景

人間の「個性」は、身長、体重、髪の毛や目の色のような身体的なものだけではなく、認知的能力やパーソナリティなど、脳神経系の機能に大きく関係する。心理学では、こうした認知的能力やパーソナリティの個人差について、知覚現象などに代表されるヒトとしての心的機能の共通性と合わせて、個性(「個性」)を法則的に理解することを試みてきた。しかし、ヒトの心的(認知的)機能の共通性については、関連する神経科学的研究との連携によってかなりのことが解明されてきたにもかかわらず、心的機能の個人差、すなわち「個性」の問題については現象の記述的説明レベルにとどまっており、その神経生物学的基盤については未だ十分には明らかにされてこなかった。近年の主に動物を対象にした進化心理学的アプローチによる「個体差」の研究では、行動面の「個性」は単にランダムなばらつきではなく、環境への適応の一つとして機能していることが示唆されている。したがって、人間の「個性」も単なる「個人差」ではなく、進化の過程で形成された形質の表れと考えることにより、何らかの法則性がその背後に存在することが想定できる。一方で、規則性に基づいた多様性は、個人ごとに育まれて、多岐にわたる発達の道筋を生み出すと考えられる。いわゆる「定型発達」と「非定型発達」は、このような道筋の幅のなかで捉え直すことが重要であり、乳幼児期から青年期に発達した個性は、種に普遍的な特徴とともに次世代へ継承される部分があると予想した。また、神経発生や神経新生、乳児の発達脳科学、ビッグデータや数理工学解析等の研究領域は、これまで我が国が国際的優位性を有していたが、それぞれに「個」への学問的関心を持ちながらも接点が乏しかったために、融合に至らず大きなブレイクスルーを達成できなかった。そこで、本提案領域では、既存の分野を融合させて新たに「個性創発学」とも呼べる領域を形成することにより、広く医学、情報学、教育学、人文科学等の周辺学問領域に大きな影響を及ぼす飛躍的な発展が見込まれると考えた。

一方、近年の情報科学分野の進展は、ハードウェアの革新と相まって著しく、いわゆる「ビッグデータ」の時代を迎えている。例えば、「個性」の源となる細胞の時空間的な遺伝子発現・エピゲノム変動(細胞の個性)情報を内包するゲノム配列情報とその解析に必要なストレージ量は、ヒト一人分で約1テラバイトと見積もられ、登録されている情報量は、すでに約2.5ペタバイトに達する。また、ヒト一人分の脳画像のデータ量は約10ギガバイトになる。このような大量のデータをどのように扱うかが大きな問題となっている。大量の実験データはクラウド上やデータベース上に蓄えられてシェアできるようになり、他の研究者がメタ解析を行うことも可能にした。したがって、これらの遺伝子情報、脳の形態的情報に、それに対応する表現型形質である認知・行動的情報を加えることで、ヒトの普遍性と固有性を、他の動物との共通性と差異を含めて、多面階層的に多様な領域から検討することが可能になると考えられた。

2. 研究の目的

本研究領域では、人文社会学分野・生物学分野・理工学分野における多様な専門性を有する研究者が密に連携することにより、「個性」を客観的・科学的に理解することを目指した。まず、(A01項目)胎児から成人までのヒトを対象とし、行動、認知、性格等における個性の発現について、主にその脳内基盤を明らかにする。一方、(A02項目)遺伝的背景がヒトよりも均一である齧歯類等の実験動物を用い、生殖細胞形成や発生・発達過程にゲノム編集や母体への薬物暴露等、種々の介入を行うことによって生じるゆらぎが個体へ与える影響として、多様性の増大もしくは減少などの表現型に着目することにより、「個性」創発のメカニズムを理解する。A01項目およびA02項目の推進にあたって、(A03項目)種々の解析システム・解析装置の開発や技術提供、数理モデル構築を行う。上記の活動を国際的なデータシェアリングプラットフォームを構築して推進する。さらに、「個性」の研究にまつわる倫理的法的社会的課題(ELSI)に関して啓発するために、学会等における研究者向けのセミナーや、市民公開講演会を開催することを予定した。



3. 研究の方法

本研究領域では、人文社会学分野・生物学分野・理工学分野における多様な専門性を有する研究者が密に連携することにより、「個性」を客観的・科学的に理解することを目指した。まず、(A01 項目) 主として乳児から成人までのヒトを対象とし、行動、認知、性格等における個性の発現について、主にその脳内基盤を明らかにすることを試みた。一方、(A02 項目) 遺伝的背景がヒトよりも均一である齧歯類等の実験動物を用い、生殖細胞形成や発生・発達過程にゲノム編集や母体への薬物暴露等、種々の介入を行うことによって生じるゆらぎが個体へ与える影響として、多様性の増大もしくは減少などの表現型に着目することにより、「個性」創発のメカニズムを理解することを目指した。A01 項目および A02 項目の推進にあたって、(A03 項目) 種々の解析システム・解析装置の開発や技術提供、数理モデル構築を行った。国際連携活動に関しては、若手研究者の海外派遣(2020 年度以降は COVID-19 蔓延のために行えず)、海外からの著名な研究者を招聘して、各種セミナーやシンポジウム等を開催することに加え、2 回の国際シンポジウムを開催するとともに、データシェアリングプラットフォームを構築して上記の研究成果を登録した。

4. 研究成果

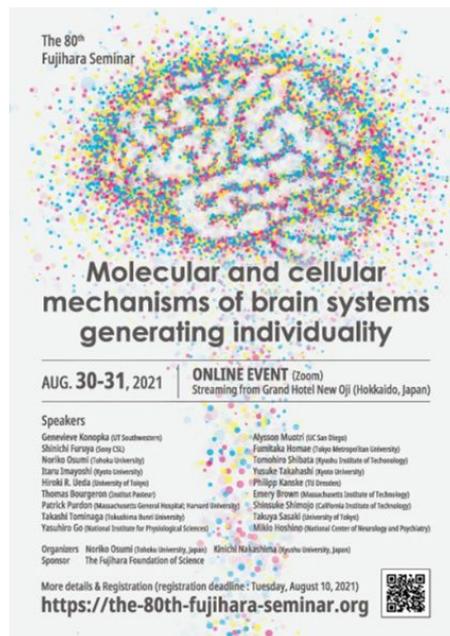
本領域では海外の研究者や研究機関との共同研究の発展にも尽力し、若手研究者の海外関係機関への派遣を積極的に行った。令和 2 年初頭からの世界規模での新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う海外渡航自粛勧告のため、最終年度は海外関係機関への派遣が難しくなったが、領域が開始してからの約 4 年間に於いて、米国 (USCD)、オーストリア (University of Graz)、フランス (Pasteur Institute)、英国 (University College London)、イスラエル (Tel Aviv University)、ドイツ (Max Planck Intelligent Systems Laboratory)、米国 (Columbia University)、ドイツ (German Cancer Research Center)、オーストリア (Medical University of Vienna) への派遣を行った。また、第 1 回国際シンポジウムを平成 30 年 7 月に京都で開催し、国際連携を推進した。約 165 名が参加して、活発な議論が行われた。第 2 回国際シンポジウムに関しては令和 2 年 8 月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け延期し、改めて令和 3 年 8 月にハイブリッド配信により開催し、約 170 名がオンラインで参加した。

若手の海外派遣ができなくなった令和 2 年度に、「若手研究者データ解析・共有基盤創出チャレンジ」という研究費を若手向けに領域内公募し、10 件が採択された。

本領域では国際連携活動の一貫として、マウス・ラット等齧歯類の音声コミュニケーションのデータを公開するためのデータシェアリングプラットフォーム (DSP; <http://data-share.koseisouhatsu.jp>) を公開した。この DSP に登録されたデータは、RIKEN META DATABASE とも自動連携し、パスツール研究所が運用しているマウス音声の DSP である mouseTube とのリンクが可能となっている。このような取り組みは、実験の再現性の向上や、生物医学と情報科学の連携を加速させるためにも重要である。登録されたデータを用いて、今後、理論研究や自動解析ツールの開発等のオープンサイエンス促進が期待される。普及を促進するために DSP の利用方法を動画付きで記すとともに (<https://sites.google.com/view/vocalcommuj/home>)、新学術領域「共創言語進化」と本領域の領域間共同研究として開発した齧歯類音声の解析ソフト USVSEG (Tachibana et al., PLoS One, 2020) を提供した。

< 本領域の研究成果 >

http://www.koseisouhatsu.jp/activity/release/20210909_release/index.html を参照。



国際連携活動：データシェアリングプラットフォーム

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計82件（うち査読付論文 81件 / うち国際共著 14件 / うちオープンアクセス 55件）

1. 著者名 Tsuzuki, D., Taga, G., Watanabe, H., Homae, F.	4. 巻 -
2. 論文標題 Individual variability in the nonlinear development of the corpus callosum during infancy and	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Brain Structure and Function	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Izumi R, Hino M, Nagaoka A, Shishido R, Kakita A, Hoshino M, Kunii Y, Yabe H	4. 巻 175
2. 論文標題 Dysregulation of DPYSL2 expression by mTOR signaling in schizophrenia: Multi-level study of postmortem brain.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 73-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2021.09.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Sano T, Kawazoe T, Shioya A, Mori-Yoshimura M, Oya Y, Maruo K, Nishino I, Hoshino M, Murayama S, Saito Y	4. 巻 -
2. 論文標題 Unique Lewy pathology in myotonic dystrophy type 1.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuropathology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/neup.12790	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Miyashita S, Hoshino M*	4. 巻 11(4)
2. 論文標題 Transit Amplifying Progenitors in the Cerebellum: Similarities to and Differences from Transit Amplifying Cells in Other Brain Regions and between	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cells	6. 最初と最後の頁 726
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cells11040726	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kei Hori*, Kazumi Shimaoka, Mikio Hoshino*	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 AUTS2 Gene: Keys to Understanding the Pathogenesis of Neurodevelopmental Disorders.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cells	6. 最初と最後の頁 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cells11010011.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, Y.U., Miwa, H., Hori, K., Kaneko, R., Morimoto Y., Koike, E., Asami, J., Kamijo, S., Yamada, M, Hoshino, M. and Inoue, T.	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Targeting Neurons with Functional Oxytocin Receptors: A Novel Set of Simple Knock-In Mouse Lines for Oxytocin Receptor Visualization and Manipulation.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 0423-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/ENEURO.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 *Kimura R, *Yukiko U. Inoue, *Kikkawa T, et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Detection of REST expression in the testis using epitope-tag knock-in mice generated by genome editing.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Dev Dyn	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/dvdy.417	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富永貴志, 梶原利一 & 富永洋子	4. 巻 61
2. 論文標題 膜電位イメージングで見えるようになったもの	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 生物物理	6. 最初と最後の頁 404-408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2142/biophys.61.404	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masaki Ishida, Manabu Hori, Yui Ooba, Masako Kinoshita, Tsuyoshi Matsutani, Musumi Naito, Taeko Hagimoto, Kuniko Miyazaki, Sou Ueda, Ken	4. 巻 68(3)
2. 論文標題 A Functional Aqp1 Gene Product Localizes on The Contractile Vacuole Complex in Paramecium multimicronucleatum	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Eukaryotic Microbiology	6. 最初と最後の頁 1 - 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jeu.12843	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahiro Wakizono, Hideyuki Nakashima, Tetsuro Yasui, Teppei Noda, Kei Aoyagi, Kanako Okada, Yasuhiro Yamada, Takashi Nakagawa, Kinichi	4. 巻 6
2. 論文標題 Growth factors with valproic acid restore injury-impaired hearing by promoting neuronal regeneration	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 e139171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.139171	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hideyuki Nakashima, Keita Tsujimura, Koichiro Irie, Takuya Imamura, Cleber A Trujillo, Masataka Ishizu, Masahiro Uesaka, Miao Pan, Hirofumi Noguchi, Kanako Okada, Kei Aoyagi, Tomoko Andoh-Noda, Hideyuki Okano, Alysson R Muotri, Kinichi Nakashima	4. 巻 35
2. 論文標題 MeCP2 controls neural stem cell fate specification through miR-199a-mediated inhibition of BMP-Smad signaling	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 109124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2021.109124	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shuzo Matsubara Taito Matsuda Kinichi Nakashima	4. 巻 10
2. 論文標題 Regulation of Adult Mammalian Neural Stem Cells and Neurogenesis by Cell Extrinsic and Intrinsic Factors	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cells	6. 最初と最後の頁 1145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cells10051145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogata S, Hashizume K, Hayase Y, Kanno Y, Hori K, Balan S, Yoshikawa T, Takahashi H, Taya S, Hoshino M	4. 巻 26(3)
2. 論文標題 Potential involvement of DSCAML1 mutations in neurodevelopmental disorders.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Genes Cells	6. 最初と最後の頁 136-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12831	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Adachi T, Miyashita S, Yamashita M, Shimoda M, Okonechnikov K, Chavez L, Kool M, Pfister SM, Inoue T, Kawauchi D, Hoshino M	4. 巻 8(3)
2. 論文標題 Notch Signaling between Cerebellar Granule Cell Progenitors.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 eNeuro	6. 最初と最後の頁 0468-20.2021
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/ENEURO.0468-20.2021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zheng T, Ghasemi DR, Okonechnikov K, Korshunov A, the rest	4. 巻 11(9)
2. 論文標題 Cross-species genomics reveals oncogenic dependencies in ZFTA/C11orf95 fusion-positive supratentorial ependymomas.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Discov.	6. 最初と最後の頁 2230-2247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2159-8290.CD-20-0963.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Inoue, Y.U., Morimoto, Y., Yamada, M., Kaneko, R., Shimaoka, K., Oki, S., Hotta, M., Asami, J., Koike, E., Hori, K., Hoshino, M., Imayoshi, I. and Inoue, T.	4. 巻 10
2. 論文標題 An Optimized Preparation Method for Long ssDNA Donors to Facilitate Quick Knock-In Mouse Generation.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cells	6. 最初と最後の頁 1076
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cells10051076	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeru Matsuda, Fumitaka Homae, Gentaro Taga and Fumiyasu Komaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Oscillator decomposition of infant fNIRS data (accepted)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 PLOS Computational Biology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sumito Kurata, Reiko Kuroda, Fumiyasu Komaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Statistical modeling for temporal dominance of sensations data incorporating individual characteristics of panelists: an application to data of milk chocolate	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Food Science and Technology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13197-021-05260-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumiyasu Komaki	4. 巻 67
2. 論文標題 Shrinkage Priors for Nonparametric Bayesian Prediction of Nonhomogeneous Poisson Processes	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IEEE Transactions on Information Theory	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/TIT.2021.3084062	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hidemasa oda and Fumiyasu Komaki	4. 巻 67
2. 論文標題 Shrinkage Priors on Complex-Valued Circular- Symmetric Autoregressive Processes	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IEEE Transactions on Information Theory	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/TIT.2021.3079512	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Michiko Okudo and Fumiyasu Komaki	4. 巻 176
2. 論文標題 Shrinkage priors for single-spiked covariance models	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Statistics & Probability Letters	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.spl.2021.109127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryohei Shibue, Fumiyasu Komaki	4. 巻 16(3)
2. 論文標題 Deconvolution of calcium imaging data using marked point processes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS Computational Biology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pcbi.1007650	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koike-Tani, M., Tominaga, T., Oldenbourg, R., Tani, T.	4. 巻 118
2. 論文標題 Birefringence changes of dendrites in mouse hippocampal slices revealed with polarizing microscopy.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biophysical Journal	6. 最初と最後の頁 2366-2384
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bpj.2020.03.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Luyben, T., Rai, J., Li, H., Georgiou, J., Avila, A., Zhen, M., Collingridge, G., Tominaga, T., Okamoto, K.	4. 巻 14
2. 論文標題 Optogenetic Manipulation of Postsynaptic cAMP Using a Novel Transgenic Mouse Line Enables Synaptic Plasticity and Enhances Depolarization Following Tetanic Stimulation in the Hippocampal Dentate Gyrus	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Neural Circuits	6. 最初と最後の頁 24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncir.2020.00024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hori K, Yamashiro K, Nagai T, Shan W, Egusa SF, Shimaoka K, Kuniishi H, Sekiguchi M, Go Y, Tatsumoto S, Yamada M, Shiraishi R, Kanno K, Miyashita S, Sakamoto A, Abe M, Sakimura K, Sone M, Sohya K, Kunugi H, Wada K, Yamada M, Yamada K, Hoshino M.	4. 巻 23(6)
2. 論文標題 AUTS2 Regulation of Synapses for Proper Synaptic Inputs and Social Communication	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 101183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2020.101183.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mutsumi Kawano, Takashi Tominaga, Masaki Ishida, Manabu Hori	4. 巻 67
2. 論文標題 Roles of Adenylate Cyclases in Ciliary Responses of Paramecium to Mechanical Stimulation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Eukaryotic Microbiology	6. 最初と最後の頁 532-540
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jeu.12800	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 HayaseY, AmanoS, HashizumeK, TominagaT, MiyamotoH, KannoY, Ueno-Inoue Y, i InoueT, YamadaM, OgataS, Bala S, HayashiK, MiuraY, TokudomeK, OhnoY, Nishijo T, Momiya T, Yanagawa Y, Takizawa, A, Mashimo T, SerikawaT, SekineA, NakagawE, TakeshitaE, YoshikawaT, WagaC, InoueK, GotoY, NabeshimaY, IharaN, YamakawaK, TayaS, HoshinoM	4. 巻 8
2. 論文標題 Down syndrome cell adhesion molecule like-1 (DSCAML1) links the GABA system and seizure susceptibility	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Acta Neuropathologica Communications	6. 最初と最後の頁 206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40478-020-01082-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamada, M., Nagasaki, C.S., Suzuki, Y., Hirano, Y. and *Imayoshi, I.	4. 巻 23
2. 論文標題 Optimization of light-inducible Gal4/UAS gene expression system in mammalian cells.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2020.101506	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Imayoshi, I., Tabuchi, S., Matsumoto, M., Kitano, S., Miyachi, H., *Kageyama, R. and Yamanaka, A.	4. 巻 10
2. 論文標題 Light-induced silencing of neural activity in Rosa26 knock-in and BAC transgenic mice conditionally expressing the microbial halorhodopsin eNpHR3.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-59984-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Seymour, P.A., Collin, C.A., Egeskov-Madsen, A.R., Jorgensen, M.C., Shimojo, H., Imayoshi, I., de Lichtenberg, K.H., Kopan, R., Kageyama, R. and Serup, P.	4. 巻 52
2. 論文標題 Jag1 Modulates an Oscillatory Dll1-Notch-Hes1 Signaling Module to Coordinate Growth and Fate of Pancreatic Progenitors.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Dev Cell.	6. 最初と最後の頁 731-747
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.devcel.2020.01.015.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nguyen, R., Venkatesan, S., Binko, M., Yoon Bang, J., Cajanding, J.D., Briggs, C., Sargin, D., Imayoshi, I., Lambe, E.K. and Chul Kim, J.	4. 巻 40
2. 論文標題 Cholecystokinin-expressing Interneurons of the Medial Prefrontal Cortex Mediate Working Memory Retrieval.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Neurosci.	6. 最初と最後の頁 2314-2331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.1919-19.2020.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa, T., Hattori, S., Nobuta, R., Kimura, R., Nakagawa, M., Matsumoto, M., Nagasawa, Y., Funayama, R., Miyakawa, T., Inada, T., Osumi, N., Nakayama, K.I., Nakayama, K.	4. 巻 23
2. 論文標題 The Autism-Related Protein SETD5 Controls Neural Cell Proliferation through Epigenetic Regulation of rDNA Expression.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2020.101030.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tatehana, M., Kimura, R., Mochizuki, K., Inada, H., Osumi, N.	4. 巻 15
2. 論文標題 Comprehensive histochemical profiles of histone modification in male germline cells during meiosis and spermiogenesis: Comparison of young and aged testes in mice.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0230930.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Casingal, C.R., Kikkawa, T., Inada, H., Sasaki, Y., Osumi, N.	4. 巻 -
2. 論文標題 Identification of FMRP target mRNAs in the developmental brain: FMRP might coordinate Ras/MAPK, Wnt/ -catenin, and mTOR signaling during corticogenesis.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mol Brain	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13041-020-00706-1.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamada, M., Nagasaki, C.S., Ozawa, T. and *Imayoshi, I.	4. 巻 152
2. 論文標題 Light-mediated control of gene expression in mammalian cells.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurosci Res.	6. 最初と最後の頁 66-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.12.018.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 内田麻理香, 原 聖	4. 巻 18
2. 論文標題 欠如モデル・一方コミュニケーション・双方向コミュニケーションー科学技術コミュニケーションにおける中核概念の再配置	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 科学技術社会論研究	6. 最初と最後の頁 208-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arimura N, Okada M, Taya S, Dewa KI, Tsuzuki A, Uetake H, Miyashita S, Hashizume K, Shimaoka K, Egusa S, Nishioka T, Yanagawa Y, Yamakawa K, Inoue YU, Inoue T, Kaibuchi K, Hoshino M.	4. 巻 6(36)
2. 論文標題 DSCAM regulates delamination of neurons in the developing midbrain	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Adv	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.aba1693.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Riichi Kajiwara, Takashi Tominaga	4. 巻 43
2. 論文標題 Perirhinal cortex area 35 controls the functional link between the perirhinal and entorhinal hippocampal circuitry	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BioEssays	6. 最初と最後の頁 2000084
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/bies.202000084	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masaki Ishida, Manabu Hori, Yui Ooba, Masako Kinoshita, Tsuyoshi Matsutani, Musumi Naito, Taeko Hagimoto, Kuniko Miyazaki, Sou Ueda, Ken Miura, Takashi Tominaga	4. 巻 -
2. 論文標題 A Functional Aqp1 Gene Product Localizes on The Contractile Vacuole Complex in Paramecium multimicronucleatum	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Eukaryotic Microbiology	6. 最初と最後の頁 e12843
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jeu.12843	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jauk, E., Breyer, D., Kanske, P., & Wakabayashi, A.	4. 巻 177
2. 論文標題 Narcissism in independent and interdependent cultures.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Personality and Individual Differences	6. 最初と最後の頁 110716
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.paid.2021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Thongkorn, S., Kanlayaprasit, S., Panjabud, P., Saeliw, T., Jantheang, T., Kasitipradit, K., Sarobol, S., Jindatip, D., Hu, W., Tencomnao, T., Kikkawa, T., Sato, T., Osumi, N., Sarachana, T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Sex differences in the effects of prenatal bisphenol A exposure on autism-related genes and their relationships with the hippocampus functions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-80390-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshizaki, K., Kimura, R., Kobayashi, H., Oki, S., Kikkawa, T., Mai, L., Koike, K., Mochizuki, K., Inada, H., Matsui, Y., Kono, T., Osumi, N.	4. 巻 22
2. 論文標題 Paternal age affects offspring via an epigenetic mechanism involving REST/NRSF.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 EMBO Rep.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embr.202051524.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hideyoshi Igata, Yuji Ikegaya, Takuya Sasaki	4. 巻 118(1)
2. 論文標題 Prioritized experience replays on a hippocampal predictive map for learning	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2011266118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuya Nishimura, Yuji Ikegaya, Takuya Sasaki	4. 巻 34(12)
2. 論文標題 Prefrontal synaptic activation during hippocampal memory reactivation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2021.108885	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugiura L, Hata M, Matsuba Kurita H, Uga M, Tsuzuki D, Dan I, Hagiwara H and Homae	4. 巻 12
2. 論文標題 Explicit performance in girls and implicit processing in boys: A simultaneous fNIRS-ERP study on second language syntactic learning in young adolescents.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience 1	6. 最初と最後の頁 1 - 12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2018.00062	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河村康佑、若林明雄	4. 巻 15
2. 論文標題 他者の痛み経験時の事象と表情が観察者の痛み理解と不快感に与える影響	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 認知心理学研究	6. 最初と最後の頁 13-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5265/jcogpsy.15.13	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakashima H, Tsujimura K, Irie K, Ishizu M, Pan M, Kameda T, Nakashima K:	4. 巻 -
2. 論文標題 Therapeutic time window of anti-high mobility group box-1 antibody administration in mouse model of spinal cord injury.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosci Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2018.03.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakai A, Matsuda T, Doi H, Nagaishi Y, Kato K, Nakashima K	4. 巻 -
2. 論文標題 Ectopic neurogenesis induced by prenatal antiepileptic drug exposure augments seizure susceptibility in adult mice.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci USA	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1716479115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uezono N, Zhu Y, Y, Matsuda T, Nakajo M, Abematsu M, Setoguchi T, Mori S, Takahashi HK, Komiya S, Nishibori M, Nakashima K:	4. 巻 -
2. 論文標題 Prior Treatment with Anti-High Mobility Group Box-1 Antibody Boosts Human Neural Stem Cell Transplantation-Mediated Functional Recovery After Spinal Cord Injury.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Stem Cells	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/stem.2802	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura A, Matsuda T, Sakai A, Muraio N, Nakashima K	4. 巻 247
2. 論文標題 HMGB2 expression is associated with transition from a quiescent to an activated state of adult neural stem cells.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Dev Dyn	6. 最初と最後の頁 229 238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/dvdy.24559	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhu Y, Uezono N, Yasui T, Nakashima K	4. 巻 247
2. 論文標題 Neural stem cell therapy aiming at better functional recovery after spinal cord injury.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Dev Dyn	6. 最初と最後の頁 75 84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/dvdy.24558Zhu Y, Uezono N, Yasui T, Nakashima K	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawamura Y, Katada S, Noguchi H, Yamamoto H, Sanosaka T, Iihara K, Nakashima K	4. 巻 59
2. 論文標題 Synergistic induction of astrocytic differentiation by factors secreted from meninges in the mouse developing brain.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 FEBS lett	6. 最初と最後の頁 3709-3720
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1873-3468.12881	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sanosaka T, Imamura T, Hamazaki N, Chai M, Igarashi K, Ideta-Otsuka M, Miura F, Ito T, Fujii N, Ikeo K, Nakashima K	4. 巻 20
2. 論文標題 DNA Methylome Analysis Identifies Transcription Factor-Based Epigenomic Signatures of Multilineage Competence in Neural Stem/Progenitor Cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Rep	6. 最初と最後の頁 2992-3003
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2017.08.086.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Brulet R, Matsuda T, Zhang L, Miranda C, Giacca M, Kaspar BK, Nakashima K, Hsieh J	4. 巻 8
2. 論文標題 NEUROD1 instructs neuronal conversion in non-reactive astrocytes.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Stem Cell Reports	6. 最初と最後の頁 1506-1515
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.stemcr.2017.04.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takouda J, Katada S, Nakashima K	4. 巻 93
2. 論文標題 Emerging mechanisms underlying astrogenesis in the developing mammalian brain.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proc Jpn Acad Ser B Phys Biol Sci	6. 最初と最後の頁 386-398
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2183/pjab.93.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasui T, Uezono N, Nakashima H, Noguchi H, Matsuda T, Noda-Andoh T, Okano H, Nakashima K:	4. 巻 8
2. 論文標題 Hypoxia epigenetically confers astrocytic differentiation potential on human pluripotent cell-derived neural precursor cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Stem Cell Reports	6. 最初と最後の頁 1743-1756
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.stemcr.2017.05.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Owa T, Taya S, Miyashita S, Yamashita M, Adachi T, Yamada K, Yokoyama M, Aida S, Nishioka T, Inoue YU, Goitsuka R, Nakamura T, Inoue T, Kaibuchi K, Hoshino M:	4. 巻 38
2. 論文標題 Meis1 Coordinates Cerebellar Granule Cell Development by Regulating Pax6 Transcription, BMP Signaling and Atoh1 Degradation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Neurosci	6. 最初と最後の頁 1277-1294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.1545-17.2017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyashita S, Adachi T, Yamashita M, Sota T, Hoshino M:	4. 巻 147
2. 論文標題 Dynamics of the cell division orientation of granule cell precursors during cerebellar development.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mech Dev	6. 最初と最後の頁 1 - 7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mod.2017.06.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hanai S, Sukigara S, Dai H, Owa T, Horike SI, Otsuki T, Saito T, Nakagawa E, Ikegaya N, Kaido T, Sato N, Takahashi A, Sugai K, Saito Y, Sasaki M, Hoshino M, Goto YI, Koizumi S, Itoh M:	4. 巻 187
2. 論文標題 Pathologic Active mTOR Mutation in Brain Malformation with Intractable Epilepsy Leads to Cell-Autonomous Migration Delay.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Am J Pathol	6. 最初と最後の頁 1177-1185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajpath.2017.01.015.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hori K, Hoshino M	4. 巻 7
2. 論文標題 Neuronal Migration and AUTS2 Syndrome.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain Sci	6. 最初と最後の頁 E54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci7050054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue YU, Morimoto Y, Hoshino M, Inoue T	4. 巻 -
2. 論文標題 Generation of Pax6-IRES-EGFP knock-in mouse via the cloning-free CRISPR/Cas9 system to reliably visualize neurodevelopmental dynamics.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2018.01.007.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mogi A, Yomoda R, Kimura S, Tsushima C, Takouda J, Sawauchi M, Maekawa T, Ohta H, Nishino S, Kurita M, Mano N, Osumi N, Moriya T	4. 巻 6
2. 論文標題 Entrainment of the Circadian Clock in Neural Stem Cells by Epidermal Growth Factor is Closely Associated with ERK1/2-mediated Induction of Multiple Clock-related Genes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 45-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2018.02.045.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kikkawa T, Casingal CR, Chun SH, Shinohara H, Hiraoka K and Osumi N	4. 巻 -
2. 論文標題 The role of Pax6 in brain development and its impact on pathogenesis of autism spectrum disorder.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brainres.2018.02.041	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato T, Kikkawa T, Saito T, Itoi K, Osumi N	4. 巻 59
2. 論文標題 Organizing activity of Fgf8 on the anterior telencephalon.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Dev Growth Differ	6. 最初と最後の頁 701-712
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/dgd.12411	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshizaki K, Koike K, Kimura R, Osumi N:	4. 巻 12
2. 論文標題 Early postnatal vocalizations predict sociability and spatial memory in C57BL/6J mice: Individual differences in behavioral traits emerge early in development.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0186798
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0186798	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatsumoto S, Go Y, Fukuta K, Noguchi H, Hayakawa T, Tomonaga M, Hirai H, Matsuzawa T, Agata K, Fujiyama A:	4. 巻 7
2. 論文標題 Direct estimation of de novo mutation rates in a chimpanzee parent-offspring trio by ultra-deep whole genome sequencing.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 13561
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-13919-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Li W, Chu MW, Wu A, Suzuki Y, Imayoshi I and Komiyama T	4. 巻 7
2. 論文標題 Adult-born neurons facilitate olfactory bulb pattern separation during task engagement.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 eLife	6. 最初と最後の頁 e33006
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.33006.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki Y and Imayoshi I	4. 巻 12
2. 論文標題 Network analysis of exploratory behaviors of mice in a spatial learning and memory task.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS One.	6. 最初と最後の頁 e0180789
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shibue R, Komaki F:	4. 巻 118
2. 論文標題 Firing rate estimation using infinite mixture models and its application to neural decoding.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2902_2913
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/jn.00818.2016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuda T, Komaki F:	4. 巻 29
2. 論文標題 Multivariate time series decomposition into oscillation components.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neural Computation	6. 最初と最後の頁 2055_2075
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1162/NECO_a_00981	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kikkawa, T., Takahashi, M. and Osumi, N.	4. 巻 78
2. 論文標題 Electroporation in the Rodent Embryonic Brain Using Whole Embryo Culture System.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Curr Protoc Neurosci.	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cpns.21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshizaki, K., Furuse, T., Kimura, R., Tucci, V., Kaneda, H., Wakana, S. and Osumi, N	4. 巻 11
2. 論文標題 Paternal Aging Affects Behavior in Pax6 Mutant Mice: A Gene/Environment Interaction in Understanding Neurodevelopmental Disorders.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One.	6. 最初と最後の頁 e0166665
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0166665	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Lo Van A, Sakayori N, Hachem M, Belkouch M, Picq M, Lagarde M, Osumi N, Bernoud-Hubac N.	4. 巻 130
2. 論文標題 Mechanisms of DHA transport to the brain and potential therapy to neurodegenerative diseases.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Biochimie	6. 最初と最後の頁 163-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biochi.2016.07.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakayori, N., Tokuda, H., Yoshizaki, K., Kawashima, H., Innis, SM., Shibata, H. and Osumi, N	4. 巻 240
2. 論文標題 Maternal nutritional imbalance between linoleic acid and alpha-linoleic acid increase offspring's anxious behavior with a sex-dependent manner in mice.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Tohoku J Exp Med.	6. 最初と最後の頁 31-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1620/tjem.240.31	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bulet R, Matsuda T, Zhang L, Miranda C, Giacca M, Kaspar BK, Nakashima K Hsieh J.	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 NeuroD1 instructs neuronal conversion 1 in non-reactive astrocytes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Stem Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hamazaki N, Nakashima K, Imamura T.	4. 巻 1543
2. 論文標題 Manipulation of Promoter-Associated Noncoding RNAs in Mouse Early Embryos for Controlling Sequence-Specific Epigenetic Status.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Methods Mol Biol	6. 最初と最後の頁 271-282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-1-4939-6716-2_16	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuda, T., Kitajo, K., Yamaguchi, Y., and Komaki, F	4. 巻 152
2. 論文標題 A point process modeling approach for investigating the effect of online brain activity on perceptual switching,	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 50-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2017.02.068	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuda, T. and Komaki, F.	4. 巻 29
2. 論文標題 Time series decomposition into oscillation components and phase estimation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neural Computation	6. 最初と最後の頁 332-367.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1162/NECO_a_00916	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida K, Go Y, Kushima I, Toyoda A, Fujiyama A, Imai H, Saito N, Iriki A, Ozaki N, Isoda M.	4. 巻 2
2. 論文標題 Single-neuron and genetic correlates of autistic behavior in macaque	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Science Advances	6. 最初と最後の頁 e1600558,
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.1600558	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ujiie, Y., Asai, Y., Wakabayashi, A.	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Individual Differences and the Effect of Face Configuration Contexts in the McGurk Effect	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Experimental Brain Research	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Amano M, Nishioka T, Yura Y, Kaibuchi K	4. 巻 72
2. 論文標題 Identification of Protein Kinase Substrates by the Kinase-Interacting Substrate Screening (KISS) Approach.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Curr Protoc Cell Biol.	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cpcb.8.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue YU, Inoue T	4. 巻 9
2. 論文標題 Brain enhancer activities at the gene-poor 5p14.1 utism-associated locus.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 31227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep31227.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計73件 (うち招待講演 37件 / うち国際学会 60件)

1. 発表者名 嶋岡可純, 堀 啓, 坂本亜沙美, 井上由紀子, 郷康 弘, 阿部 学, 崎村建司, 井上高良, 星野幹雄
2. 発表標題 自閉症感受性遺伝子Auts2はマウス大脳皮質形成において上層神経細胞の産生を制御する
3. 学会等名 第14回CBIR若手シンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大隅典子
2. 発表標題 DOHaDからPOHaDへ: 継精子エピ変異の次世代脳発達への影響
3. 学会等名 第48回日本毒性学会学術年会 神戸
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Y. TOMINAGA, M. TAKETOSHI, K. TANEMURA, *T. TOMINAGA
2. 発表標題 Quantitative detection of the effect on neuronal responses in tri-synapses with the acute application of bisphenol-A-related substances on
3. 学会等名 Society for Neuroscience, Neuroscience 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佃 京華, 窪田剛志, 千葉 葵, 富永 貴志, 岸本 泰司, 中島 健太郎
2. 発表標題 期投与脳内炎症モデルマウスは統合失調症様精神行動障害を示す
3. 学会等名 日本生物物理学会 中国四国支部大会(第12回)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 内海 雄一, 竹歳 麻紀子, 小原 菜夏, 三輪 倫子, 富永 洋子, 富永 貴志
2. 発表標題 電位感受性色素 (VSD) イメージングによるinvitro痙攣リスク評価法の開発
3. 学会等名 第48回日本毒性学会学術年会 神戸
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 富永 貴志, 竹歳 麻紀子, 種村 健太郎, 富永 洋子
2. 発表標題 電位感受性色素 (VSD) による全神経回路活動計測の開発: 海馬スライス標本へのビスフェノールA関連物質の急性投与
3. 学会等名 第48回日本毒性学会学術年会 神戸
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本 融、尾嶋 大喜、多田 篤史、田之上 優、黒川 直弘、窪田 剛志、高橋 弘雄、岸本 泰司、富永 貴志
2. 発表標題 電位感受性色素 (VSD) による全神経回路活動計測の開発：海馬スライス標本へのビスフェノールA関連物質の急性投与
3. 学会等名 第48回日本毒性学会学術年会 神戸 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佃 京華、窪田 剛志、千葉 葵、富永 貴志、岸本 泰司、中島 健太郎
2. 発表標題 Cuprizone短期投与による脳内炎症モデルマウスは統合失調症様行動障害を示す
3. 学会等名 The 44th annual meeting of the Japan neuroscience society/第44回日本神経科学大会CJK第3回国際大会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 内海 雄一、竹歳 麻紀子、小原 菜夏、三輪 倫子、富永 洋子、富永 貴志
2. 発表標題 膜電位感受性色素 (VSD) イメージングによる in vitro痙攣リスク予測
3. 学会等名 The 44th annual meeting of the Japan neuroscience society/第44回日本神経科学大会CJK第2回国際大会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 富永 貴志、グサイン プージャ、竹歳 麻紀子、富永 洋子
2. 発表標題 マウス前頭前野の同側，反対側への神経活動伝播の膜電位感受性色素による機能的解剖
3. 学会等名 The 44th annual meeting of the Japan neuroscience society/第44回日本神経科学大会CJK第1回国際大会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Mikio Hoshino, Satoshi Miyashita
2. 発表標題 Regulation of cerebellar neural progenitors and cerebellar evolution
3. 学会等名 神経科学会, Symposium "Regulation of neural stem cells and new development of brain evolution study" (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Mikio Hoshino
2. 発表標題 Novel function of Down Syndrome Cell Adhesion Molecule in mammalian brain development
3. 学会等名 Fujihara Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 今吉 格
2. 発表標題 Roles of postnatal and adult neurogenesis in brain development and maturation+B19:C19
3. 学会等名 The 80th Fujihara Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 今吉 格
2. 発表標題 Analysis of neural stem cell regulatory mechanisms using optogenetics
3. 学会等名 第1回 CJK 国際会議 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 今吉 格
2. 発表標題 高速超解像から大規模3Dまで、バイオイメージングを遍くカバーする最新顕微鏡技術群
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大隅典子
2. 発表標題 精神医学研究に対する動物モデルを用いた基礎研究の貢献How animal models can contribute to psychiatric research?
3. 学会等名 第44回日本神経科学大会C JK国際会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Fumiyasu Komaki
2. 発表標題 Information geometry of predictive densities and its application to Poisson-based models
3. 学会等名 EAC-ISBA2021 (Hybrid) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Y Tominaga, R Kajiwara, T Tominaga
2. 発表標題 Optical membrane potential recordings with voltage-sensitive dye (VSD) enabling recordings of rare and unique neuronal activity patterns
3. 学会等名 Society for Neuroscience, Global Connectome (Online) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 富永 貴志, 富永 洋子
2. 発表標題 VSDイメージングによる神経回路毒性の網羅的評価
3. 学会等名 第47回日本毒性学会学術年会 (仙台、オンライン) (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 富永 貴志、梶原 利一、富永 洋子
2. 発表標題 単回頻回の膜電位感受性色素(VSD)による広視野可視化法 は神経回路の特異な活動や振動現象の発見に役立つ
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会(神戸、オンライン) (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 待田 耀子 , 山田 悠太 , 富永 貴志 , 梶原 利一
2. 発表標題 発達期および成体期におけるマウス嗅皮質神経回路の膜電位イメージング解析
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会(神戸、オンライン)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 富永 洋子, 竹歳 麻紀子, 富永 貴志
2. 発表標題 Imaging analysis of the long-term potentiation of the mouse hippocampal activityマウス海馬の長期増強を膜電位感受性色素によるイメージングで観察する
3. 学会等名 第58回日本生物物理学会(群馬、オンライン)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 今吉 格
2. 発表標題 発生発達期暴露による嗅球神経新生影響～毒性評価としての嗅球利用を探る～
3. 学会等名 第47回日本毒性学会学術年会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 今吉 格
2. 発表標題 Toward understanding and manipulation of neural bases underlying animal behaviors and psychiatric diseases
3. 学会等名 第43回日本分子生物学会年会シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 今吉 格
2. 発表標題 Regulatory mechanism of neural stem cells revealed by optical manipulation of gene expressions
3. 学会等名 第11回新潟大学脳研究所共同研究拠点国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大隅 典子
2. 発表標題 個性を科学するためのチャレンジ
3. 学会等名 NTTニケーション科学基礎研究所オープンハウス（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大隅 典子
2. 発表標題 先天異常からDOHaDへ:鍵となる次世代継承エピジェネティクス
3. 学会等名 先天異常学会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大隅 典子
2. 発表標題 精神医学研究に対する齧歯類を用いた基礎研究の貢献
3. 学会等名 日本精神神経学会総会シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大隅 典子
2. 発表標題 Transgenerational epigenetics: a possible scenario for the onset of neurodevelopmental diseases
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大隅 典子
2. 発表標題 Transgenerational Epigenetics: A Key to Understand Neurodevelopmental Diseases
3. 学会等名 CINP2021 VIRTUAL WORLD CONGRESS(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sekiguchi A, Kotozaki Y, Sugiura M, Nakagawa S, Nouchi R, Miyauchi CM, Takeuchi H, Taki Y, Kawashima R
2. 発表標題 Pre-existing reduced functional connectivity between cognitive control network and salience network enhances PTSD symptoms after a disaster: evidence from a longitudinal
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Eito H, Wakabayashi A
2. 発表標題 Uniqueness of the gaze cue in spatial anisotropy of visual attention.
3. 学会等名 Fechner Day 2017 The 33rd Annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 今村拓也、佐野坂司、浜崎伸彦、Chai Muh Chyi、五十嵐勝秀、大塚まき、三浦史仁、伊藤隆司、藤井信之、池尾一穂、中島欽一
2. 発表標題 DNA methylomes identify transcription factor-based epigenomic signatures for timed acquisition of differentiation competence in neural stem/progenitor cells towards neuronal and glia lineages
3. 学会等名 4th World Congress of Reproductive Biology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中島 欽一
2. 発表標題 Hypoxia epigenetically confers astrocytic differentiation potential on human pluripotent cell-derived neural precursor cells
3. 学会等名 The 72nd Fujihara Seminar Molecular Mechanism of Molding and Disruption of the Epigenomes Underlying Cellular Community (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 今村拓也、山本直樹、阿形清和、中島欽一
2. 発表標題 Regulation of non-coding RNA contributes to the complete cessation of cell proliferation of neuron-like cells
3. 学会等名 第43回内藤コンファレンス(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hoshino M, Hori K
2. 発表標題 Analysis of Autism Susceptibility Candidate 2 (AUTS2) gene during development
3. 学会等名 第8回新潟大学脳研究所共同研究拠点国際シンポジウム(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hori K, Nagai T, Shan W, Yamada M, Shiraishi R, Sakamoto A, Kanno K, Abe M, Yamada K, Sakimura K, Hoshino M
2. 発表標題 The role of AUTS2 in synaptic formation and the cognitive brain functions
3. 学会等名 第8回新潟大学脳研究所共同研究拠点国際シンポジウム(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hoshino M
2. 発表標題 Neurogenesis: Specification of Cerebellar Progenitors
3. 学会等名 the 8th International Symposium of The Society for Research on the Cerebellum and Ataxia(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inoue YU, Hoshino M, Inoue T
2. 発表標題 Generation of Pax6-IRES-EGFP knock-in mouse via cloning-free CRISPR/Cas9 system for neurodevelopmental researches
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inoue YU, Morimoto Y, Inoue T
2. 発表標題 Visualization and humanization of oxytocin receptor expressions in mice; towards the clinical application of oxytocin to autism spectrum disorders
3. 学会等名 第9回 武田科学振興財団薬科学シンポジウム Genome Editing Towards Medicinal Applications (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Osumi N, Kimura R, Yoshizaki K, Koike T, Oki S, Mochizuki K, Kikkawa T, Inada H, Matsui Y, Kono T
2. 発表標題 Paternal aging-induced differential DNA methylation in sperm: possible effects on gene expression and behavior in offspring
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Osumi N
2. 発表標題 Paternal aging model of autism: a possible epigenetic mechanism
3. 学会等名 Albert Einstein College of Medicine 廣井研究室セミナー (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kimura R, Yoshizaki K, Koike T, Oki S, Aoki N, Mochizuki K, Kobayashi H, Kikkawa T, Inada H, Matsui Y, Kono T, Osumi N
2. 発表標題 Trans-generational transmission of ASD-like phenotypes possibly via sperm epigenetic alteration caused by paternal age
3. 学会等名 国際自閉症カンファレンス東京2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Osumi N
2. 発表標題 Paternal aging affects offspring's behavior possibly via an epigenetic mechanism involving a transcriptional repressor REST
3. 学会等名 Link_ping University-JSPS Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tominaga T and Tominaga Y
2. 発表標題 Voltage-sensitive dye imaging study of the input-dependent GABAergic control of the paired burst facilitation (PBF) in area CA1 of the hippocampus
3. 学会等名 Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Wakayama Y, Kamada S, Yamada Y, Tominaga T, Kajiwara R
2. 発表標題 Voltage-sensitive dye signal analysis of inhibitory components in mouse perirhinal-entorhinal cortical slices
3. 学会等名 Society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Komaki F
2. 発表標題 Information Geometry of predictive densities and its application to Poisson regression
3. 学会等名 Lilac International Conference of Application on Statistics (LICAS 2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Komaki F
2. 発表標題 Shrinkage Priors for Poisson-Based Models and Their Applications
3. 学会等名 Joint Statistical Meetings 2017(JSM2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shibue R and Komaki F
2. 発表標題 Neural decoding based on an infinite mixture model
3. 学会等名 The 1st International Conference on Econometrics and Statistics (EcoSta 2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Komaki F
2. 発表標題 A predictive approach to statistical problems with multiplicity
3. 学会等名 CMStatistics 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kageyama I, Natsume K
2. 発表標題 The hippocampal beta rhythm and the computational model of it
3. 学会等名 NOLTA2017 Special Sessions (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shibata T, Shibata T
2. 発表標題 A Novel Practical Approach to Prosthetic Control of Continuous Multi-Fingered Kinematics with a Low-Cost Wearable sEMG Device
3. 学会等名 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Omure Y, Izumi H, Shibata T
2. 発表標題 A Study on Automatic OWAS Classification of the Working Postures of a Caregiver
3. 学会等名 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Owa T, Taya S, Miyashita S, Nishioka T, Kaibuchi K, Hoshino M:
2. 発表標題 Role of Meis1 in the cerebellar development
3. 学会等名 Neuroscience2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kimura R., Yoshizaki K., Koike T., Koike K., Kikkawa T., Inada H., Matsui Y., Kono T. and Osumi N.
2. 発表標題 Paternal aging-induced differential DNA methylation in sperm: possible transgenerational effects on gene expression and behavior in offspring,
3. 学会等名 Neuroscience 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Osumi N.
2. 発表標題 Paternal aging-induced differential DNA methylation in sperm: possible transgenerational effects on gene expression and behavior.
3. 学会等名 Genome Imprinting Epigenetics and Physiological Functions (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Osumi N.
2. 発表標題 Paternal aging affects offspring's behavior: its significance and possible underlying transgenerational epigenetics.
3. 学会等名 The 19th KSBNS Annual Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nakashima K.
2. 発表標題 Insights into Rett Syndrome using Neural Stem Cells,
3. 学会等名 Keystone Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Komaki F.
2. 発表標題 Shrinkage priors for a class of Poisson regression models
3. 学会等名 Computational and Methodological Statistics (CMStatistics 2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 R. Kajiwara, Y. Wakayama, Y. Tominaga, T. Tominaga
2. 発表標題 Network plasticity facilitating the neural excitation propagation between the perirhinal and entorhinal cortices as revealed by voltage-sensitive dye imaging
3. 学会等名 Neuroscience 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tominaga T and Tominaga Y.
2. 発表標題 Activation of GABAA-receptors by high-frequency stimuli causes paired burst facilitations in area CA1 of the hippocampal slice
3. 学会等名 Neuroscience 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hosoe, F., Watanabe, H., & Taga, G.
2. 発表標題 The characteristics of the cortical functional networks in individual infants
3. 学会等名 The Society for Functional Near Infrared Spectroscopy 2016 Biennial Meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Go Y.
2. 発表標題 Spatiotemporal brain transcriptome architecture in the common marmoset
3. 学会等名 The 6th annual conference of Japan Society for Marmoset Research, Brain/MINDS international symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Go Y.
2. 発表標題 Spatiotemporal gene expression trajectory in the human and non-human ape brains
3. 学会等名 The 6th Joint CIN-NIPS International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Go Y.
2. 発表標題 Spatiotemporal gene expression trajectory in the human and non-human ape brains
3. 学会等名 The 6th Joint CIN-NIPS International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Go Y.
2. 発表標題 Spatiotemporal gene expression trajectory in the human and non-human ape brains
3. 学会等名 The 6th Joint CIN-NIPS International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Go Y.
2. 発表標題 Spatiotemporal gene expression trajectory in the human and non-human ape brains
3. 学会等名 The 6th Joint CIN-NIPS International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Go Y.
2. 発表標題 Spatiotemporal gene expression trajectory in the human and non-human ape brains
3. 学会等名 The 6th Joint CIN-NIPS International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Go Y.
2. 発表標題 Spatiotemporal gene expression trajectory in the human and non-human ape brains
3. 学会等名 The 6th Joint CIN-NIPS International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Go Y.
2. 発表標題 Spatiotemporal gene expression trajectory in the human and non-human ape brains
3. 学会等名 The 6th Joint CIN-NIPS International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Go Y.
2. 発表標題 Spatiotemporal gene expression trajectory in the human and non-human ape brains
3. 学会等名 The 6th Joint CIN-NIPS International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Go Y.
2. 発表標題 Spatiotemporal gene expression trajectory in the human and non-human ape brains
3. 学会等名 The 6th Joint CIN-NIPS International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Go Y.
2. 発表標題 Spatiotemporal gene expression trajectory in the human and non-human ape brains
3. 学会等名 The 6th Joint CIN-NIPS International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計4件

1. 著者名 保前 文高, 大隅 典子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 232
3. 書名 個性学入門 : 個性創発の科学	

1. 著者名 鈴木匡子、鈴木大介	4. 発行年 2021年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 288
3. 書名 壊れた脳と生きる	

1. 著者名 大隅 典子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東海教育研究所	5. 総ページ数 120
3. 書名 望星	

1. 著者名 熊谷 晋一郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 280
3. 書名 当事者研究 等身大の<わたし>の発見と回復	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>多様な「個性」を創発する脳システムの総合的理解 http://www.koseisouhatsu.jp/ ニュースレターVol.8 http://www.koseisouhatsu.jp/activity/release/20200918_newsletter_vol8/images/newsletter_vol8.pdf ニュースレターVol.9 http://www.koseisouhatsu.jp/activity/release/20210318_newsletter_vol9/images/newsletter_vol9.pdf ニュースレター総括号 http://www.koseisouhatsu.jp/activity/release/20210927_newsletter_summary/images/newsletter_summary.pdf データシェアリングプラットフォーム https://data-share.koseisouhatsu.jp/</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	保前 文高 (Homae Humitaka) (20533417)	東京都立大学・人文科学研究科・教授 (22604)	
研究分担者	若林 明雄 (Wakabayashi Akio) (30175062)	千葉大学・大学院人文科学研究院・名誉教授 (12501)	
研究分担者	中島 欽一 (Nakashima Kinitchi) (80302892)	九州大学・医学研究院・教授 (17102)	
研究分担者	星野 幹雄 (Hoshino Mikio) (70301273)	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター・神経研究所 病態生化学研究部・部長 (82611)	
研究分担者	今吉 格 (Imayoshi Itaru) (60543296)	京都大学・生命科学研究所・教授 (14301)	
研究分担者	郷 康広 (Go Ysuhiro) (50377123)	大学共同利用機関法人自然科学研究機構(新分野創成センター、アストロバイオロジーセンター、生命創成探究・生命創成探究センター・特任准教授 (82675)	
研究分担者	富永 貴志 (Tominaga Takashi) (20344046)	徳島文理大学・神経科学研究所・教授 (36102)	
研究分担者	駒木 文保 (Komaki Humiyasu) (70242039)	東京大学・大学院情報理工学系研究科・教授 (12601)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	柴田 智広 (Shibata Tomohiro) (40359873)	九州工業大学・大学院生命体工学研究科・教授 (17104)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
タイ	チェラロンコーン大学			
インド	IIIT-Delhi			
英国	エディンバラ大学			
カナダ	トロント・マウントサイナイ病院	フレフェルドタネンバウム研究所	トロント大学	
米国	ウッズホール海洋生物学研究所			
フランス	パスツール研究所			
米国	UCSD			